

南山大学地域研究センター共同研究/ヨーロッパ研究センター共催シンポジウム
ボローニャプロセス以後の欧米を中心とした
大学制度の変貌と新しい学問状況

ジャック・デリダにおける教育と哲学

ドキュメンタリー映画

『哲学への権利——国際哲学コレージュの軌跡』をめぐって

13:30-15:00 映画上映 『哲学への権利——国際哲学コレージュの軌跡』



哲学への権利について、人文学の未来について、私たちは何を信じることを許されているのか？

1983年、ジャック・デリダらが脱構築の理論をもとにパリに創設した国際哲学コレージュをめぐる初のドキュメンタリー映画。この研究教育機関の獨創性を例として、本作品では、収益性や効率性が追求される現在のグローバル資本主義下において、哲学や人文学の可能性をいかなる「現場」として構想しうるのかが問われる。監督・西山雄二が歴代の議長を含む7名へのインタビューを通じて哲学の現在形と未来形を描き出す。

(公式 HP <http://rightphilo.blog112.fc2.com/>)

15:10-16:30 討議 西山雄二 (東京大学)
宮崎裕助 (新潟大学)

日時: 2009年12月5日(土) 13:30~16:30

場所: 南山大学名古屋キャンパスJ棟1階
特別合同研究室(Pルーム)

南山大学ヨーロッパ研究センター事務室

電話: 052-832-3111(内線 3430)

E-mail: cfes@ic.nanzan-u.ac.jp